

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	商業簿記 2 (Commercial Bookkeeping 2) 392106-14-600					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

商業簿記 1・2 では、1 年次配当の簿記入門の知識を前提とし、商品売買業およびサービス業における高度な簿記を学ぶ。特に商業簿記 2 では日常の取引に関する仕訳に加え、精算表や財務諸表の作成、本支店会計、連結会計という高度かつ難易度の高い内容を学ぶ。本講義は事務・経理職を目指すために必須の知識であり、日商簿記検定 2 級に対応する科目である。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

スライド資料、レジュメ等は Google Classroom を通じて配布する。授業ではインプットが中心になる。アウトプット（問題演習）は復習として必ず行うこと。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「商業簿記 1」「工業簿記 1」「工業簿記 2」と共に履修することを強く推奨する。

⑤ テキスト（教科書）

滝澤ななみ(2023)『簿記の教科書 日商 2 級 商業簿記 (第 12 版)』TAC 出版 (出版予定)

滝澤ななみ(2023)『簿記の問題集 日商 2 級 商業簿記 (第 12 版)』TAC 出版 (出版予定)

⑥ 参考図書・指定図書

各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。

⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 日常の取引について本質的に理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。
- (ii) 精算表や財務諸表を作成でき、検定試験第 3 問レベルの問題を解くことができる。
- (iii) 連結会計について理解し、連結精算表や連結財務諸表を作成でき、検定試験レベルの問題を解くことができる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日常の取引に関する仕訳	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答が6割に満たない
(ii) 精算表や財務諸表の作成	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの問題について6割程度正答できる	基本的レベルの問題について正答が6割に満たない
(iii) 連結会計の理解と連結精算表・連結財務諸表の作成	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの連結会計に特有の仕訳ができる	基本的レベルの連結会計に特有の仕訳もできない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 日常の取引に関する仕訳	35%	10%						45%
(ii) 精算表や財務諸表の作成	20%	5%						25%
(iii) 連結会計の理解と連結精算表・財務諸表の作成	25%	5%						30%
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業はインプットが中心となるが、特に難易度の高い連結会計については、できるだけ多くの問題に触れることができるようにし、本質的な理解が進むようにしたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス、商業簿記1の復習	商業簿記1の内容（CH01～12）を復習しておく（電卓持参）	120 分
2	収益の認識基準	予習：教科書 CH14 収益認識に関する5つのステップを理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH14 基本問題、問題集第1問対策	120 分
3	外貨建取引	予習：教科書 CH15 外貨建取引と為替差損益について、為替相場とビジネスをつなげて考えてみる（電卓持参） 復習：教科書 CH15 基本問題、問題集第1問対策	120 分
4	精算表と財務諸表	予習：教科書 CH16 検定3級レベルの精算表を復習する。前期からの内容を再度復習しておく（電卓持参） 復習：教科書 CH16 基本問題、問題集第3問対策	120 分
5	税効果会計	予習：教科書 CH17 税効果会計の概略をつかんでおく。なぜ、税効果会計が必要になるかを、CH04の課税所得の計算を復習し確認する。（電卓持参） 復習：教科書 CH17 基本問題、問題集第1問対策	120 分
6	帳簿の締め切り	予習：教科書 CH18 損益勘定と繰越利益剰余金勘定の作成について、CH02の復習とともに理解しておく（電卓持参） 復習：教科書 CH18 基本問題	120 分
7	本支店会計	予習：教科書 CH19 本支店間の取引について、本店側・支店側双方の処理方法を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH19 基本問題、問題集第1問対策、第3問対策	120 分
8	連結会計①（連結会計とは、支配獲得日の連結）	予習：CH20の該当箇所を良く読んでおく。特に部分所有かつ投資消去差額がある場合の処理を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH20 基本問題、問題集第1問対策	120 分
9	連結会計②（支配獲得日後1年目の連結）	予習：CH20 開始仕訳、のれん償却、子会社利益の処理、配当金の修正について理解する。（電卓持参） 復習：教科書 CH20 基本問題	120 分

10	連結会計③（支配獲得日後 2 年目の連結）	予習：教科書 CH20 の該当箇所、および巻末の参考を読み、タイムテーブルの書き方を学んでおく。（電卓持参） 復習：CH20 基本問題	120 分
11	連結会計④（内部取引高と債権債務の相殺消去、期末貸倒引当金の修正、未実現利益の消去）	予習：教科書 CH21 の該当箇所を読む。特にダウンストリームとアップストリームにおける処理方法を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH21 基本問題	120 分
12	連結会計⑤（商品に関する未実現利益の消去、土地に関する未実現利益の消去）	予習：教科書 CH21 の該当箇所。（電卓持参） 復習：教科書 CH21 基本問題、	120 分
13	連結会計⑥（連結精算表、連結財務諸表）	予習：教科書 CH22 連結会計①～⑤までの内容が仕訳できるように復習しておく（電卓持参） 復習：教科書 CH22 基本問題、問題集第 2 問対策	120 分
14	連結会計⑦（連結総合問題演習）	予習・復習：問題集第 2 問対策の問題が解けるように復習する（電卓持参）	120 分
15	まとめ	予習・復習：全ての基本問題、問題集の問題が解けるように演習する。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性